

市議会だより

かしば

No.134

人・街・暮らし

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-2001(代)



寒さなんてへっちゃら！みんなで元気にサッカー！〈若葉保育所〉

おもな内容

- 平成23年12月定例会の結果…………… 2P
- 委員会付託議案と審査の概要…………… 2P～3P
- 議員倫理特別委員会・議員活動状況…………… 4P
- 一般質問…………… 4P～11P
- 平成24年3月定例会会期予定…………… 12P
- 議会日誌…………… 12P

平成23年12月第5回定例会

平成23年第5回定例香芝市議会は、12月5日から19日までの15日間の会期で行われました。

本定例会では、理事者から提出された報告事項3件・条例の一部改正6件・補正予算2件・契約の締結1件・指定管理者の指定1件の13議案、また議員提出議案4議案について、慎重に審議しました。



審議結果

〈理事者提出議案〉

議案番号	議案	審議の結果（議長を除く）	
報第14号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第15号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第16号	障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の専決処分の報告について	報告受理	
議第31号	香芝市暴力団排除条例を制定することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第32号	香芝市暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第33号	香芝市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び香芝市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第34号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第35号	香芝市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正することについて	原案可決	出席 17名 賛成 15名 反対 2名
議第36号	香芝市自転車駐車場条例の一部を改正することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第37号	平成23年度香芝市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第38号	平成23年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第39号	香芝市保健センター新築工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致・出席17名）	
議第40号	香芝市自転車駐車場の指定管理者の指定について	原案可決（全会一致・出席17名）	

委員会付託議案

総務財政委員会	議第33号、議第34号、議第37号、意見書第8号
民生文教委員会	報第16号、議第31号、議第32号、議第35号、議第36号、議第38号、議第39号、議第40号、意見書第9号

主な議案内容と委員会審査の概要について (抜粋) (平成23年12月第5回定例会)

議第31号 香芝市暴力団排除条例を制定することについて

【議案内容】

奈良県暴力団排除条例が施行されたことを受け、本市においても暴力団排除に関する基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにし、暴力団排除に関する施策等を定め、その排除を推進し、もって市民の安全で平穏な生活の確保と社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とし制定するものである。

【審査の概要】

(質疑) 暴力団排除に伴う企業の取り組みについて。

(答弁) 各企業においても、暴力団排除に伴う排除条項等を定めて取り組まれている。

【全会一致で可決】

議第36号 香芝市自転車駐車場条例の一部を改正することについて

【議案内容】

JR志都美駅西側区画整理地内において、JR志都美駅西自転車駐車場を平成24年4月1日に開設することに伴い、条例の一部を改正するものである。



▲ JR 志都美駅西自転車駐車場

【審査の概要】

(質疑) 志都美駅西自転車駐車場の運営は、どこが行うのか。

(答弁) 財団法人自転車整備センターと、調整を進めている。

(質疑) 市内の自転車駐車場を一括して委託すれば、コストも安くなると思うが、今回はどのように議論したのか。

(答弁) 今回は管理体制における人員確保や運営費用についての協議は行ったが、市内の全体的なコスト計算までは行っていないので、今後検討したい。

【全会一致で可決】

議第37号 平成23年度香芝市一般会計補正予算(第3号)について

【議案内容】

障害者福祉扶助費、子ども手当システム改修事業、予防接種委託料等に係る補正を行うものである。

【審査の概要】

(質疑) 予防接種委託料子宮頸がんワクチン等の予防接種委託料を計上されているが、全員の方が接種できるような予算になっているのか。

(答弁) 本年、9月末の時点で約30%の接種率があり、今後本市としては約67%を見込んでいる。今回子宮頸がんワクチンについては、約2,600万円の支出を見込んでいる。

【全会一致で可決】

議第39号 香芝市保健センター新築工事請負契約の締結について

【議案内容】

現在の保健センターが老朽化と狭隘により、また、社会情勢の変遷に伴う市民ニーズの多様化に対応するため、総合福祉センターに隣接した位置に新築移転するものである。



▲保健センター完成予想図

建物の概要は、鉄筋コンクリート造3階建、延べ床面積が1,996.38㎡、契約金額は533,447,250円である。

【審査の概要】

(質疑) 臨床心理センターを新しく設置される予定であるが、市民に対してはどのような効果があるのか。

(答弁) 臨床心理センターを設置することにより、心の問題に関して専門的な相談ができ、市民に大きな安心感を与えられる。

(質疑) 新しく建設される保健センターには、どのような部屋を設けるのか。

(答弁) 心の問題に関する相談室をはじめ、歯科検診室や発達検査室を設ける予定である。

【全会一致で可決】

《議員提出議案》

議案番号	議案	提出者	審議の結果(議長を除く)
意見書第8号	円高から中小企業を守る対策を求める意見書(案)	中山武彦	原案可決(全会一致・出席17名)
意見書第9号	「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書(案)	芦高省五	原案可決(全会一致・出席17名)
請願第1号	香芝市商工会振興協議会の設置に関する請願書		採 択(全会一致・出席17名)
選 第 12 号	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について		選 挙 上原雋16票・山本直子2票

第2回 香芝市議員倫理特別委員会

平成23年11月15日開催

(案件)

1. 議員発言における地方自治法132条（品位の保持）と個人情報保護条例の関連について
2. 議員活動の倫理（口利き）について

(参考人) 摂南大学法学部教授

香芝市情報公開・個人情報保護審査会会長 金谷重樹氏



▲特別委員会の審査のようす

審査概要

本委員会は、委員以外の全議員が傍聴のもと、上記の案件を議題とし、参考人として金谷重樹教授を招へいして開催しました。

まず理事者から、「議員からの職員に対する要求や要請の働きかけについて」7件の事例報告があり、これを受けて金谷参考人から、建設水道委員会での議員の発言や議員の口利き等の事案について、意見を聞きました。

金谷参考人からのご意見を参考に審査した結果、建設水道委員会での議員の発言や、また議員の口利きに関しては7件の内5件の事案が、香芝市政治倫理条例第2条第1項第1号に違反している疑いがあると思われましたので、同条例第9条第1項により、香芝市政治倫理審査会に調査を依頼することに決めました。

また、こうした事案を受け、今後、「香芝市議員倫理基準（仮称）」を作成することに決めました。

議員活動状況 (平成21年4月～平成23年12月 ※質疑は平成23年11月まで)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
氏名	池原 道生	池田 英子	堀川 和行	中山 武彦	川田 裕	奥山 隆俊	橋本 元秀	森井 常夫	中村 良路	関 義秀	下田 昭	小西 高吉	細井 宏純	河杉 博之	北川 重信	芦高 省五	黒松 康至	長谷川 翠
活動内容																		
質疑	199	488	112	597	1826	146	194	101	403	198	607	348	210	730	42	363	117	142
一般質問	11	11	2	11	7	5	4	2	6	1	5	3	4	7	1	11	2	6
議員 出議 提案	議 決	0	0	0	0	6	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	意見書	0	0	0	6	2	0	0	0	0	1	0	0	5	0	3	0	0
	議 決	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
請 願 書	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0

※長谷川議員：平成21年4月～平成22年3月までの間は議長のため一般質問なし

※関 議員：平成22年4月～平成23年3月までの間は議長のため一般質問なし

※川 田議員：平成23年4月～議長のため一般質問なし

- 池原道生
 - 大規模震災後の対応について
 - 今後の市政について
 - 冬季の節電対策について

- 橋本元秀
 - 高齢者対策について
 - 地域コミュニティの強化と街づくりについて
 - 学校教育と施設管理について

一般質問 質問者・項目



<http://www.gijiroku.net/city.kashiba/>

12月定例会の一般質問は12月13日・14日に行われ、9人の議員が市政全般にわたり市の見解をただしました。その内容は次のとおりです。

(掲載は質問順)

池田英子

「第5期介護保険事業計画」の策定について

・関屋保育所の民営化について

奥山隆俊

・香芝市の将来像について

長谷川翠

・本市における防災行政の現状と課題、そして今後の取り組みについて

・赤ちゃん学校の創設について

中山武彦

・子ども・若者への支援について

・冬の節電対策について

・「2012年問題」と生涯現役を支える政策について

河杉博之

・住みやすいまちづくりの構築について

・環境政策について

芦高省五

・国保料の引き下げについて

・香芝市土地開発公社のこれからについて

・年末を控えて、暮らしが大変であり、中小業者を支援、育成させるための

方策について

黒松康至

・梅田市政の3年半における大改革と今後の決意について

※詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

橋本元秀 議員

高齢者対策について

〔問〕高齢者の見守り活動の現状は、どのようになっているのか。

〔保健福祉部長〕ひとり暮らしの高齢者には、緊急通報装置を配布し、65歳以上の高齢者のみの世帯には、見守り配食サービスを実施している。

〔問〕今後は、どのように高齢者の見守り活動を行うのか。

〔保健福祉部長〕高齢者と接する機会をできるだけ多く持ち、高齢者の安否確認を行いたい。

〔問〕買い物弱者対策は、どのようなになっているのか。

〔保健福祉部長〕市民生活協同組合奈良コープと地域見守り活動の覚書を締結し、配食サービス時に高齢者の安否確認をしている。

〔問〕運転免許証の返納支援について、どのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕高齢者の交通事故を防ぐ観点から、返納支援策について調査、検討を行いたい。

〔問〕高齢者の市民健康ライフの推進については、どのように行っていくのか。

〔教育部次長〕現在、健康面からスポーツに取り組みされている高齢者が増えているので、今後は福祉部門と

も連携し、

年齢に応じた体の動か

し方の指導

やニュース

ポーツの紹介を行い、

スポーツの

充実・拡大に取り組みたい。

〔問〕スポーツや健康づくりの施設整備で、都市計画道路の高架下等の有効活用について、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕中和幹線の高架下は県管理となるので、その利用については空間地の形状を考慮したうえで、地域の意見も取り入れ、県とも協議し検討したい。

地域コミュニティの強化と街づくりについて

〔問〕まちづくりを進めるにあたって、シテイプロモーションについては、どのように考えているのか。

〔企画部次長〕活力あるまちをめざし、「笑顔と元気、住むならかしは」をキャッチフレーズに、住宅都市としての魅力を発信していきたい。

〔問〕ネーミングライツについては、どのように考えているのか。

〔企画部次長〕施設の命名権ということであるが、公共施設に民間企業の名称をつけることになるので、今



▲老人会のグラウンドゴルフ大会

のところ積極的には考えていない。

〔問〕サステナブル度については、どのように考えているのか。

〔企画部次長〕市民と行政が継続的に協働の力を発揮することが、市の発展につながるかと考えている。

〔問〕今後のまちづくりについては、どのように考えているのか。

〔都市建設部次長〕良好な住宅環境を維持しながら、今後も住宅都市としての魅力を高めていきたい。

学校教育と施設管理について

〔問〕日本人としての誇りについては、どのように考えているのか。

〔教育長〕入学式や卒業式には国旗を掲揚して国歌を斉唱しており、子どもたちも国旗を見て国歌を斉唱することで、日本人としての誇りを持つていると考えている。

〔問〕郷土を愛する教育は、どのように行っているのか。

〔教育長〕小学校の社会科の副読本により、奈良県内や市内で行われる行事、地域の文化について学習を行っている。

〔問〕教育施設の防犯対策は、どのように取り組んでいるのか。

〔教育部次長〕学校への不法侵入対策として、校門に電気錠やインターホン等を設置し、施錠と訪問者の確認を徹底している。また、非常通報装置等も設置している。

池原 道生 議員

▼大規模震災後の対応について

〔問〕避難所での被災者への対応方法については、どのように考えているのか。

〔市民生活部長〕市が指定している避難所については、災害対策本部の避難所班が開設し、管理運営を行うが、その際、地域の自主防災組織や自治会にも、ご協力いただくことになる。

〔問〕避難所に移動する前の段階として、身近なところに避難集合場所が必要であると思うが、市ではどのように考えているのか。

〔市民生活部長〕避難所への移動は、地域での共助を中心とした活動となるため、平常時から地域コミュニティの構築ができるように、避難所に関する指針や活動手引きを作成して支援したい。

〔問〕復旧復興のための、ボランティアの受け入れ体制はどのようなになっているのか。

〔市民生活部長〕社会福祉協議会等のボランティア組織が作成している災害ボランティアセンター活動マニュアルにより、市の災害対策本部と連携を図り、受け入れ体制を構築したい。

〔問〕本市で大災害が起きた場合、

罹災届をすぐに発行できるシステムは構築されているのか。

〔市民生活部長〕現在、奈良県基幹システムでの共同化クラウドの導入を進めており、被災者支援システムの運用についても検討中である。

▼今後の市政について

〔問〕地方分権については、どのように考えているのか。

〔市長〕今後は各分野で地方分権が進むと考えており、迅速に対応できるように取り組んでいきたい。

〔問〕島根県雲南市海潮の地区振興会では、共助システムにより様々な支援事業を実施しているが、本市ではこのような取り組みは考えているのか。

〔企画部長〕それぞれの地域には特性があるので、本市の特性に応じた地域づくりが必要であると考えている。

〔問〕岡山県津山市の公募提案型協働事業は、広く市民から事業を公募して、採点の結果、上位の団体が市から補助を受けるという事業であるが、本市ではこうした事業の計画はあるのか。

〔企画部長〕市の補助金については、運営費補助から事業費補助へと転換するなど抜本的な改革を行っている。平成22年度からは、市民団体が行う公益活動に要する経費に対して補

助を行う、市民活動支援補助金制度を創設し活用している。

▼冬季の節電対策について

〔問〕関西電力から10%の冬季節電要求を受けていると思うが、市役所内ではどのような節電対策をしているのか。

〔危機管理監〕庁舎内の暖房温度は19℃に設定し、また、庁舎と総合福祉センターのエレベーター一基を休止している。

さらに、照明器具を間引き、昼休み時は一斉に消灯して節電を行っている。

〔問〕市民に対しては、どのようにして冬の節電啓発を行っているのか。

〔危機管理監〕市の広報紙やホームページ、また、関西電力においてはマスメディアや自社のホームページ、ポスター等により啓発が行われている。

今後も、電力消費がピークとなる午後6時から9時までの節電の協力に加え、暖房機器や照明、テレビや冷蔵庫等の消費電力が高い機器を中心に、節電要請のお願いをする予定である。



▲一基が休止している庁舎エレベーター

池田 英子 議員

▼「第5期介護保険事業計画」の策定について

〔問〕介護予防の日常生活者支援総合事業について、要支援1・2の家事援助やデイサービスの利用状況はどのようなになっているのか。

〔保健福祉部長〕平成22年度の介護予防の訪問介護利用者は1,414人、デイサービスの利用者は1,199人である。

〔問〕要支援1・2の家事援助やデイサービスの利用者サービスについて、見直しはあるのか。

〔保健福祉部長〕従来どおりの予防給付を提供するのか、また、総合事業サービスを提供するのは、本人の状態や意向に応じて判断をする。

〔問〕定期巡回の随時対応型訪問介護サービスの導入による介護職員の体制は、どのようになるのか。

〔保健福祉部長〕現在、介護職員の体制については、国から詳しい発表はない。

〔問〕定期巡回の随時対応型を利用した場合は、訪問介護や訪問看護が利用できるのか。

〔保健福祉部長〕このサービスは24時間対応しているので、利用できることにはない。

〔問〕介護福祉士の資格を持たない

介護職員が、一定の研修を受ければ医療行為が可能となるが、これについてはどのように考えるのか。

〔保健福祉部長〕介護職員は50時間の講義と実地研修を受けて認定証を取得することになり、安全性が確保されていると考える。

〔問〕介護保険事業計画の内容変更について、①認知症の方への生活支援、②医療の連携、③高齢者の居住施策との連携は、具体的にどのような進め方についているのか。

〔保健福祉部長〕①については、成年後見制度の活用を支援したい。②については、かかりつけの医師等との連絡体制を強化したい。③については、住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めたい。

〔問〕奈良県の財政安定化基金の取り崩しについては、どのようになるのか。

〔保健福祉部長〕今回の法改正により、平成24年度に限り同基金の一部を取り崩すことができる特例措置が規定された。なお、奈良県の基金条例は、平成24年2月に提案される予定である。

▼関屋保育所の民営化について

〔問〕保護者や保育士への周知は、どのように行われているのか。

〔保健福祉部長〕今年7月に民営化が決定された後、4回にわたって

保護者説明会を開催し、保育所の職員には所長から事前に説明をしている。

〔問〕民営化にあたって、保護者の不安解消について、どのように対応したのか。

〔保健福祉部長〕保護者には、できるだけ現状の環境を維持するように説明し、説明会ごとに報告書を配布している。また、質問を受け付ける質問箱も設置している。

〔問〕保育士の不安解消については、どのように対応したのか。

〔保健福祉部長〕職場環境が変わる不安もあるので、臨時職員には本人の希望を聞いて配慮をしている。

〔問〕民営化の効果については、どのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕民営化によって節減できた経費等を、保育サービスや子育て支援の推進に充てたい。

〔問〕民営化の拡大については、どのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕園



▲4月から民営化の関屋保育所

児や保護者に対して最大限の配慮をして、より効率的、効果的に運用できるように検討したい。

奥山 隆俊 議員

▼香芝市の将来像について

〔問〕第4次香芝市総合計画の中で、「みんなで創る豊かで将来性のあるまち」とあるが、具体的にはどのようなイメージなのか。

〔企画部長〕地域特性を生かしたまちづくりは地域への愛着を育み、まちへの参画意識を高めるので、市の活力創造につながると考えている。

〔問〕新たな事業連携について、今までに具体的な話はあったのか。

〔企画部長〕現在、具体的な提案はないが、今後はその可能性があると考えている。

〔問〕具体的な事例提案があった場合は、行政として前向きに対応することは可能か。

〔企画部長〕市として連携支援が必要と判断した場合は、特命プロジェクトを組んで対応することも可能である。

〔問〕産業の振興とは、どのようなことを指しているのか。

〔都市建設部長〕地域の特色を生かした、地域経済の活性化や雇用の確保等が考えられる。

〔問〕産業の振興で、具体的に取り組まれていることはあるのか。

〔都市建設部長〕市内の中小企業者に対する支援として、中小企業資金

融資制度の信用保証料や貸付利子の補給、また、新規創業者資金については、貸付利子の補給を行っている。

〔問〕新しい産業創出に向けて、行政と民間が知恵を出し合い、支援する仕組みづくりが必要と思うが、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕民間企業からの提案内容が、本市に合うものかどうかを判断し、支援できる体制をとりたい。

〔問〕農業の振興とは、どのようなことを指しているのか。

〔都市建設部長〕本市は兼業農家が多数を占めており、農家の方には持続性を持っていただけるような取り組みが必要と考えている。

〔問〕現在、具体的に取り組んでいる農業振興はあるのか。

〔都市建設部長〕市内で米粉用の米の栽培を行い、市内のパン販売店等で米粉を使った商品を考案いただいている。

〔問〕最近では農業分野での企業参加が増えているが、その活用はどのように考えているのか。

〔都市建設部長〕企業参加は、雇用の促進や遊休地の利用に関して評価でき、農業振興においても大きな力になると考えている。

〔問〕どんづる峯の整備事業の現状と、今後の展開についてはどうか。

〔都市建設部長〕今年4月に8台分の駐車場を整備しており、平成24年度には奈良県が公衆トイレの改築移設をする予定である。

〔問〕観光資源の発掘やルートの開発、情報発信の今後の展開については、どのように考えているのか。



▲市内観光地のどんづる峯

〔都市建設部長〕例年、香芝ウォークを実施しており、今後市内の各駅と観光資源を結ぶルートづくりに取り組みたい。また、市のホームページや広報紙の中で観光情報を充実していきたい。

〔問〕総合計画の中に観光の振興とあるが、今後の具体的な施策はどのように考えているのか。

〔都市建設部長〕今年3月には、金剛・葛城山系にある自然歩道ダイヤモンドトレールに係る奈良県・大阪府・和歌山県の10市町村が、活性化実行委員会を立ち上げて、自然や歴史、周辺施設等についての情報発信を行っている。

今後、ダイヤモンドトレールの起点・終点となるどんづる峯のメリットを生かして、本市の観光資源として紹介していきたい。

長谷川 翠 議員

▼本市における防災行政の現状と課題、そして今後の取り組みについて

〔問〕安全と安心のまちづくりの観点から、本市の地域防災計画の現状と、今後はどのような見直しをするのか。

〔市民生活部長〕本市の地域防災計画は、平成15年3月に抜本的な修正を行っており、今後は中央構造線断層帯地震に対する被害規模、奈良県地域防災計画の修正に伴う変更等が主な見直しとなる。

〔問〕男女共同参画の視点を生かした防災行政の取り組みとして、防災会議における女性の登用は、どのようになっているのか。

〔市民生活部長〕防災会議の委員は、災害対策基本法の規定に準じており、市の条例で定める職に女性が就かれた場合には、防災会議の委員となる。

〔問〕地域防災計画の修正案では、女性の意見は反映しているのか。

〔市民生活部長〕女性の視点を取り入れて、プライバシーに配慮した工夫や女性に必要な物資の支給を具体化したい。

〔問〕地域防災計画の修正案では、女性の視点を生かしたまちづくりについては、どのように考えているのか。

か。

〔副市長〕女性の視点という面から、今年4月には女性消防団を発足させ、女性の立場から様々な防災の啓発活動を展開している。



▲消防出初式での女性消防団員

地域防災計画の修正においても、女性の視点を生かした取り組みを行っていきたい。

▼赤ちゃん学校の創設について

〔問〕地域福祉計画に基づいた、今後の子育て支援の位置づけは、どのようになっているのか。

〔保健福祉部長〕市民の生きがいと健康づくりを推進するなかで、安心して子育てのできるまちをめざしている。

〔問〕本市の特徴ある施策という観点から、市民ニーズはどのようなことを求めているのか。

〔保健福祉部長〕市民意識調査では、教育や子育て施策のニーズが高く、今後はハード面からソフト面への充実が必要と考えている。

〔問〕市民ニーズからは、幼児教育を含む学術的な知識を活用した施策が、特徴ある施策につながると思うが、どのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕学術的知識を生かした中で、子育て世代に魅力があり、香芝市に住んでみようと思うような施策が必要と考えている。

〔問〕地域の大学との連携については、今後、どのように事業を推進していくのか。

〔保健福祉部長〕現在は、大阪樟蔭女子大学、畿央大学、帝塚山大学の3大学と連携協定を締結しており、今後は心のケアやサポート、臨床心理士センターの設置に向けた検討や運営に携わっていただく計画をしている。

〔問〕市民にとって、地域の大学との連携は、どのようなメリットがあるのか。

〔保健福祉部長〕連携することで、より質の高い政策を市民に提供できると考えており、政策形成や研究が好循環を生み、市と大学によるコラボレーションが、まちづくりの質を高めていくことになる。

〔問〕特徴ある子育て支援の施策として、0歳児から2歳児の「赤ちゃん学校」の創設については、どのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕新たな子育ての支援策と考えており、今後は大学との連携をいかしたなかで、その考え方や取り組みについても研究を進めていきたい。

中山 武彦 議員

▼子ども・若者への支援について

〔問〕市内の小・中学校における不登校の現状は、どのようになっているのか。

〔教育部長〕小・中学校合わせて、平成21年度は70名、22年度は80名、23年度は9月現在で39名が不登校となっている。

〔問〕このような現状について、市はどのように認識しているのか。

〔教育部長〕不登校の多くは、原因が自分でもよくわからないなどほつきりしておらず、その延長線上に高校中退や引きこもりがあるのも事実である。個々の問題も大きく、端的な解明は非常に難しいものと認識している。

〔問〕学校現場においては、どのように対応しているのか。

〔教育部長〕各中学校にスクールカウンセラー、学校教育課にはスクールソーシャルワーカーを配置し、児童や生徒の心のケア、不登校等について相談活動を行っている。

〔問〕義務教育を終了



▲相談活動を行う青少年センター

した人には、どのように対応しているのか。

〔教育部長〕青少年センターでは、教育問題に限って高校生を対象とした相談も行っており、要望があれば保護者とも相談できる体制をとっている。

〔問〕来年度から中学校で武道が必修化されるが、その目的と内容はどのようなものか。

〔教育部長〕基本動作を身につけ技ができる楽しさや喜びを味わい、伝統的な礼儀作法を守り、相手を尊重して練習や試合をすることが武道の目的である。本市では柔道若しくは剣道を必修とする予定である。

〔問〕武道において最も心配なのはケガの問題だと思うが、安全面の対策はどのように考えているのか。

〔教育部長〕武道の性質上、安全面には十分留意しなければいけないと考えており、施設の安全性の確保や指導者の資質向上に努めるとともに、生徒の体調管理にも十分注意する必要があると認識している。

▼冬の節電対策について

〔問〕公共施設における夏の節電効果は、どうであったのか。

〔危機管理監〕7月から9月までの3カ月で見ると、前年同月比で約15%の節電効果があった。

〔問〕各家庭での節電については、

どのような提案を考えているのか。

〔危機管理監〕家庭でのエアコン温度は20℃に設定し、不要な照明はできるだけ消す等、家庭で取り組める節電の方法を提案していきたい。

▼「2012年問題」と生涯現役を支える政策について

〔問〕団塊の世代が65歳を迎えることで社会的な影響が考えられるが、その対策についてはどうか。

〔企画部次長〕本市では、65歳に対して40歳前後の方の割合が多いため、今後は世代間の交流を含めた知識の伝承が必要と考えている。

〔問〕団塊の世代に対する支援策は、どのように考えているのか。

〔企画部次長〕まちづくりパートナー事業等を活用して、技術や知識、経験を生かしていただきたい。

〔問〕市内の起業家への支援策は、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕起業の支援は商工会等で行っており、高齢の方には本市のシルバー人材センターを案内している。

〔問〕公民連携として、提案公募型

事業の積極的な検討をお願いしたいが、どのように考えているのか。

〔企画部次長〕現在は補助対象事業の公募は行っていないが、今後、提案公募型事業についても取り組みを進めていきたい。

河杉 博之 議員

▼住みやすいまちづくりの構築について

〔問〕第4次香芝市総合計画の中で、生活道路の安全確保とあるが、生活道路とはどのようなもので、どのように管理をしているのか。

〔都市建設部長〕生活道路とは、市が管理する認定道路で、現在は1、723路線、延長は約300kmとなっている。

また、道路の補修や改修については、自治会からの要望を受けて、舗装の劣化の大きいところから改善をしている。

〔問〕現在は、どのように道路パトロールを行っているのか。

〔都市建設部長〕職員が現場への行き帰りに道路の安全を確認するとともに、半年ごとに一斉パトロールを行っている。

〔問〕総合計画の中で、「道路整備の充実」とあるが、今後、どのような形で道路パトロールを行っているのか。

〔都市建設部長〕定期的な道路パトロール体制を構築し、併せて道路の維持管理システムも整備したいと考えている。

〔問〕生活道路の維持管理については、例年、年次計画を立てて改修を

行っているのか。

〔都市建設部長〕生活道路は、緊急的に発生した部分の改修も多く、前年度の要望に対応できなかった部分は、年次的に改修している。

〔問〕生活道路の維持管理は、どのように予算を組んでいるのか。

〔市長〕舗装の劣化に対応できるように補修や改修の予算を組んでいる。また、危険箇所の拡幅のように緊急性を要する部分の道路改良は、状況に応じて予算措置を行っている。

〔問〕生活の交通手段である自転車について、市民のマナーアップのための取り組みを、どのように考えているのか。

〔市民生活部長〕学校や警察、さらには関係団体と連携して、街頭指導や安全教育を行い、自転車のマナーアップを図りたい。

〔問〕マナーアップのための市民への講習会は、どのように考えているのか。

〔市民生活部長〕今後、多くの方が講習会に参加いただけるように、検討していきたい。

〔問〕自転車通学をしている中学生には、どのように自転車のルールを指導しているのか。

〔教育部長〕定例の校長会で、自転車の正しい乗り方を指導するように

徹底しており、学校においても定期的に立哨指導を行っている。

▼環境政策について

〔問〕総合計画の中で、「ゴミの減量化とりサイクルの推進」「環境問題の取り組み強化」とあるが、ゴミの現状についてはどのようになっているのか。

〔市民生活部次長〕平成22年度の家庭系・事業系の可燃ゴミの総量は2万108トンで、平成18年をピークに年々減少している。

〔問〕今後、環境問題に取り組みの中で、ゴミの分別については細分化を進めていくのか。

〔市民生活部次長〕現在は、プラスチック容器包装の分別収集を行っていないこともあり、今後はこれも含めた中で、収集コストや処理コスト等も勘案し、ゴミの細分化について検討していきたい。

〔問〕平成24年度については、どのようにしてゴミの資源化を図っていくのか。

〔市民生活部次長〕更にゴミの資源化を進めるため、積極的にPRをしていきたい。



▲市内でのゴミ収集業務

芦高 省五 議員

▼国保料の引き下げについて

〔問〕国保料を払いたくても払えないという方がおられるなかで、また、国保財政は単年度では黒字になっている状況もあることから、国保料を引き下げることができないのか。

〔保健福祉部長〕最近では医療費が伸び続けて、高齢者の被保険者数も増加しているため、国保財政は非常に厳しい運営を迫られている。

さらに、国保財政の実質収支は赤字であり、現在は国保料を下げられるような状況ではない。

〔問〕経済不況による生活不安が続く深刻な状況では、正規の保険証ではなく、短期証や資格証といった限定的な保険給付しか受けられない被保険者が増加している。

このような状況下においては、国保料を引き下げざるべきだと思いが、どのように考えるのか。

〔保健福祉部長〕現在、国保財政は約3千万円の累積赤字があり、安定的に運営できる施策が必要と考えており、このような状況で国保料を下げることはできない。

〔問〕財政状況が厳しいということはあるが、保険料が高いと感じる方もいるので、市としても国保料を引き下げするための努力をすべきである

と思うが、その点はどのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕1人当たりの医療費は、平成20年度と比べて7・7%も増加し、逆に保険料の収入は所得の低下に伴って減っており、財政的に厳しい状況が続いている。このような中で、国保料を引き下げるのは無理である。

▼香芝市土地開発公社のこれからについて

〔問〕土地開発公社経営検討委員会が開催されたが、その回数と内容はどうなのですか。

〔総務部長〕同委員会は、学識経験者1名、弁護士2名、公認会計士2名の合計5名で組織されており、これまで2回開催した。

1回目は、同公社の概要や運営状況、課題等について説明を行った。

2回目は、第三セクター等改革推進債を活用した場合の市の財政状況の推移や影響について説明を行い、同公社の保有物件の経緯や現状、今後のあり方について、専門家の立場から問題点を指摘いただいた。

▼年末を控えて、暮らしが大変であり、中小業者を発展、育成させるための方策について

〔問〕中小企業者、特に小企業者を支援するための方策は、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕中小企業支援として、中小企業資金融資制度や新規創業資金融資利子補給金制度を設けている。中小企業資金融資制度については、今年度から3年間は、運転資金の返済期間を4年から5年に延長し、設備資金の返済期間も5年から7年に延ばして、中小企業者の利用の促進を図っている。

〔問〕今後利用状況やその成果を見た中で、柔軟な対応を考えたい。

〔答〕中小企業の活性化を図るために、国では中小企業憲章が閣議決定をされたが、香芝市で中小企業憲章をつくる考えはどうか。

〔都市建設部長〕中小企業の振興は必要と考えるが、中小企業憲章については、今後勉強していきたい。

〔問〕国保料の引き下げ、また土地開発公社の問題、そして中小企業者の育成について、市長から総括の答弁をいただきたい。

〔市長〕国保料の引き下げについては、国保の特殊性もあるので今後の動向を見守りたい。

土地開発公社の問題については、経営検討委員会の検証を踏まえた中で、解散という方向に向けて取り組んでいきたい。

中小企業者の育成については、本市としてのあるべき対策を講じていきたいと考えている。

黒松 康至 議員

▼梅田市政の3年半における大改革と今後の決意について

〔問〕市長が就任されてからは、過去の債務残高や行政構造の改革、古い体質からの脱却という闘いであったと思うが、行政の長として取り組んだ重要な改革のポイントは、何であったのか。

〔市長〕政策理念として、「市民の元氣と笑顔がまちに家庭にあふれる生活快適都市」の実現を公約に掲げて、今日までその取り組みをどのように実現していくべきかを常に考え、市政の推進を進めてきた。

具体的には、指定管理者の導入や民間委託を積極的に行い、職員数の削減に努めるとともに、ITコストの大幅削減と業務の効率化を図るために、クラウド事業や事務事業を見直し、補助金の適正化等により歳出の削減を実施してきた。また、受益者負担の見直しにより使用料や手数料の適正化を図り、歳入の確保にも努めてきた。

さらに、まちづくりパートナー制度を創設し、市民に本市の総合計画や地域福祉計画等の策定にかかわっていただき、市民、地域、行政が連携していく新たな行政経営の姿を追求して取り組んできた。

〔問〕今後の香芝市政においては、どのような改革が必要となってくるのか。

〔市長〕行政が担える範囲は非常に狭く、これからは市民力や地域力が必要となってくる。そのためには、市民に信頼され、市民のリーダーとなる職員が求められており、職員の意識改革は重要な課題と考えている。

今後も市民と知恵を出し合って、魅力的で個性あるまちづくりを進めていきたい。

〔問〕市長は任期中に多くの改革を実行されたが、改革の歩みをまとめて、広報紙等で市民にわかりやすく説明することについては、どのように考えているのか。

〔市長〕これまでも広報紙やホームページで掲載してきたが、紙面等の都合もあり成果報告だけというものであった。

また、市民の方々には、これまでも機会あるごとに本市の現状を訴えて改革の必要性について協力を求めてきた。

今後は、しかるべき時期に広報紙やホームページを活用して、公約の達成度についての説明を考えていきたい。

〔問〕平成24年度の予算編成については、どのように考えているのか。

〔市長〕平成24年度の予算編成にあたっては、市長選挙の関係もあり、義務的経費である人件費や扶助費等の経常経費を中心として、既に政策決定をしている事業や継続事業等を加えた、骨格的な予算として編成を行いたい。

〔問〕来年の市長選に向けて、市長の再出馬の意思を伺いたい。

〔市長〕市長就任以降は、財政の健全化に向けた様々な取り組みを実施し、併せて、近鉄下田駅周辺の整備、JR志都美駅の駅前整備、磯壁北今市線の開通、学校施設の耐震化等に取り組んできた。

また、市民と行政との協働事業の考え方が浸透し、新たな市政運営の仕組みもできつつあり、それぞれの成果に一定の自己評価ができたと考えており、来年の市長選挙には立候補しないことにした。



▲整備された近鉄下田駅北側

市政については道半ばのものもあるが、今日までの改革の道を閉ざすことなく、残された任期について、市政の発展に全力で取り組むことが私の責務だと考えている。

平成24年3月定例会会期(予定)

月	日(曜日)	会 議 名
3	5日(月)	本 会 議
	7日(水)	総務財政委員会
	8日(木)	民生文教委員会
	9日(金)	建設水道委員会
	12日(月)~14日(水)	予算特別委員会
	21日(水)~22日(木)	一 般 質 問
	26日(月)	本 会 議

※正式な会期・日程案は、2月23日の議会運営委員会で決定されます。(注：議会運営委員会で日程変更される場合があります。)

香芝市ホームページ <http://www.city.kashiba.lg.jp/>

議会の開会日、会議録(本会議・委員会)の閲覧や議員の紹介をご覧ください。

議会の傍聴においでください

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名及び年齢を記入していただくと、傍聴することができます。



◆定員/議場44人/委員会室(委員長が別に定める)

※本会議の状況は、庁舎1階ロビーのモニターでもご覧になれます。

議
会
日
誌

平成23年

11月22日 葛城地区清掃事務組合 例月出納検査

12月24日 議会運営委員会

5日 本会議

7日 総務財政委員会

8日 民生文教委員会

13・14日 一般質問

19日 本会議

26日 葛城地区清掃事務組合 例月出納検査

27日 葛城広域行政事務組合 例月出納検査
保健センター新築工事 起工式

平成24年

1月4日 香芝広陵消防組合 年頭視閲式

9日 香芝市成人式

15日 香芝市消防出初式

25日 葛城地区清掃事務組合 定期監査

6日 葛城広域行政事務組合 例月出納検査

2月

8日 奈良県市議会事務局局長会

6日 議会だより編集委員会

2016年8日 第4回奈良県市議会議長会

全国高速自動車道市議会協議会



▲出初式



▲成人式



▲保健センター新築工事起工式



議会だより編集委員会

- 委員長 小西高吉
- 副委員長 中山武彦
- 委員 黒松康至
- 委員 荻高省五
- 委員 下田昭
- 委員 橋本元秀
- 委員 奥山隆俊

「議会だより」は、議会の活動をわかりやすく伝えるよう努めています。ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

(問合せ)TEL76-2001

編集後記

暦のうえでは、立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。お体には十分ご自愛いただきたいと思えます。

さて、激動の一年となりました昨年を振り返りますと、東日本大震災や原発事故、また台風12号など多くの災害が発生しました。

こうした暗いニュースの中で、「なでしこジャパン」が女子ワールドカップで見事、世界一の栄冠を勝ち取り、日本に勇気と希望を与えてくれました。

また、昨年は、「絆」というキーワードに代表されるように、人々の繋がり・思いやりを改めて感じる一年となりました。

新しい年を迎え、我々議員一同も、市民の皆さま方との「絆」を、より一層深めてまいりたいと考えていますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

3月定例会は、平成24年度予算を審議する議会です。市民の皆様の声を反映させるためにも、ひとりでも多く傍聴ください。